

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
HARVEST		令和7年2月7日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	5	0	集団活動、個別活動で使用スペースを調整し、工夫しながら空間を使っています。	個々の特性や状況を踏まえて訓練室を分けるなど、職員同士連携をとりながら空間を使っています。
	2	5	0	事業所間での移動体制や、代行連絡調整ツールを用いてサポートできる体制を整えています。	事業所間での移動体制や、代行連絡ツールを使用し安全に療育が受けられるように努めています。
	3	5	0	玄関や廊下、トイレ等にイラストを用いた視覚提示をしています。玩具が収納されているボックスには名称記載があり、ラックへと片付けやすい工夫がされています。	引き続き理解しやすい構造化された環境設定をしていきます。児童特性に合わせて、机上作業時がしやすいような構造化された設定なども用意していきます。
	4	5	0	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	引き続き整理整頓を実施し、生活空間を整えていきます。
	5	5	0	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	今後もより良い療育が提供できるように努めていきます。
業務改善	6	5	0	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	今後もより良い療育が提供できるよう努めていきます。
	7	5	0	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	早急な課題に対してはすぐに取り掛かり、改善に向けて内容の見直しを行います。サービス向上のために、保護者向けアンケートの実施なども考えています。
	8	5	0	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	今後も職員の意見交換の場を設け、業務改善につなげていきます。
	9	5	0	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	評価結果を職員間で話し合い業務改善に努めていきます。
	10	5	0	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	内部・外部研修の機会を定期的に確保し、職員の知識・資質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	5	0	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	引き続き支援プログラムの作成、公表に努めていきます。
	12	5	0	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	お子様の情報に加え、各評価・検査を基に話し合い計画を立てています。
	13	5	0	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	支援の方向性や方法など職員間で話し合う場を設けて検討を行っています。
	14	5	0	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	保護者様からお伺いした情報を元に、評価と合わせてご要望に沿える支援ができるよう努めてまいります。
	15	5	0	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	自社内の評価項目を選定し、運動（協調性）・学習・言語理解などへの検査を実施しています。
	16	5	0	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	支援計画の内容に基づいて療育を実施できるように心がけるとともに、わかりやすく丁寧な説明が行っていきけるよう継続して実施していきます。
	17	5	0	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	室内での活動を検討するチームを構成し、季節や時期に応じた内容を提供できるように心がけています。
	18	5	0	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	チーム内で日々検討したり、事業所間で活動の共有を行うことでプログラムの固定化を防いでいます。
	19	5	0	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	個別活動と集団活動がうまく組み合わさるように療育を展開しています。

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	午前中と終業後に振り返りや翌日の活動の動きと役割分担を確認しています。	お子様の情報を共有し、職員間でフォローし合い万全の態勢で対応できるよう取り組んでいきます。今後より良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	保護者や学校から伺った情報はすぐに共有し、支援の内容に反映できるように心がけています。	共有漏れがないよう職員同士声を掛け合うようにします。今後より良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	データとして保存し、日々活用しています。	スタッフ全員がよりよい支援を提供できるよう話し合う機会を設け、支援の検証・改善につなげています。
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	モニタリングのスケジュール調整など相談員と連携・協力でできています。	モニタリング時に情報提供できるよう日々の記録から内容や目標設定の見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	5	0	週替わりで行う活動や日々の療育内容に組み合わせで支援を考えています。	今後より良い支援が提供できるよう努めていきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	選択が難しい児童については絵カードなどの視覚支援も含め、選択ができるようにしています。様々な場面で「自分で選ぶ」ということを経験できるように工夫を行っています。	今後より良い支援が提供できるよう努めていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	モニタリング前に各担当者話し合いの場を設けて情報共有しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし人材育成に努めていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	各関係機関と連携して支援が行えるように、日々情報収集と情報共有を行っています。	必要に応じ体制を整えるなど、各方面の関係機関と連携できるように配慮してまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	行事予定や下校時刻の変更等は、事前に学校や保護者様に確認を取っています。	今後保護者様や学校との情報共有、連絡調整を適切に行ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	情報共有と相互理解に努めています。ご相談がある場合は事業所にご連絡いただけるよう声をかけています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご質問ください。引き続き連携を深めていきたいと思っております。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	情報提供書等を各関係機関に送っています。	必要な際は情報提供を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	適宜、研修などに参加させていただいております。	今後より良い療育をご提供できるよう関係性を深めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもも活動する機会があるか。	0	5	現在は実施していませんが、今後交流する機会を設けていければと考えています。	毎月行っている屋外活動で交流の機会を作れるように、企画・立案をさせていただきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	自立支援協議会等の集まりに積極的に参加をさせていただいております。	今後参加の場を広げて、関係性を繋げていけるよう努めてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	直接話せない保護者様には連絡ノートを活用し療育内容や成長ポイント、自宅でのトレーニングの提案を行っています。また保護者さまからのご相談やお悩みもノートで受け付けております。	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っております。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を継続して実施してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	必要に応じ、療育後のご説明時にさせていただいております。	面談の機会を設けたり、連絡ノートでわかりやすく丁寧な説明を継続して実施してまいります。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	見学時にご説明させていただいております。	利用途中でも質問がありましたらお問合せ下さい。今後保護者様がより分かりやすいご説明ができるよう努めてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	定期的に保護者様とお話する機会を設けています。直接お話しすることが難しい場合はノートやLINEを活用し意向確認を行っています。	今後より良い療育をご提供できるよう努めてまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	保護者様には計画書を提示しながら支援内容の説明・確認を行い、サインを頂くことで同意を得ています。	リストを作成することで説明や確認漏れを防いでいます。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	お会いできる時間に悩みごとについての聴取を行っております。また、連絡ノートやLINE等でわかりやすく丁寧な説明を心がけています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡下さるよう声をかけさせていただいております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	事業所で協力できることを行っています。また、保護者様、ご兄弟参加の活動を開催し、交流する機会を設けています。	今後保護者同士の交流を促す活動を増やしていけるように検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	第三者委員会の設置やマニュアルを設け、迅速かつ適切に対応できるよう努めています。	現在たくさんのご相談や見学の申し込みを頂いており、順次受け入れさせていただくようにしております。
の保護者等へ	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	行事予定や活動内容についてホームページやLINE、Instagram、Facebookにて発信しています。	月に1回お渡ししている営業日のご案内用紙に各種QRコードが印刷されております。

保護者への説明等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	厳重に取り扱っております。	引き続き職員一人一人、意識を高め個人情報の取り扱いには細心の注意をおこなってまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	同意を得た後に、連絡ノートや電話等での情報共有を行っています。	今後もお子様、保護者様とのコミュニケーションを一つ一つ大事にさせていただきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	海岸清掃ボランティア活動などを実施し、地域に根付いた運営を図っています。	今後も新しい企画などで地域コミュニティの1つになれるようにしていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各事業所毎に防災訓練や感染症対策など年間スケジュールを立てて実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災の避難訓練を実施しています。職員研修にて各種マニュアルの認識を深めると共に想定訓練を実施しより安全に避難できるよう対策を立てていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	全員参加で火災・震災の避難訓練を夏と秋に実施しています。	年間スケジュールを組み、火災・震災への学習時間を持ち、避難訓練を実施していきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	利用時に全員に問診にて確認をしています。	保護者様との連携を深め、お子様の変化等にすぐ気づけるよう努めてまいります。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	食事を伴う活動の際は、保護者様へ確認を行い、必要に応じて医師の指示書に合わせた対応を実施しています。	食事を伴う活動の際はアレルギー確認を行い、個々に合わせた対応をしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	スケジュールを組み、災害関連の避難訓練を実施しています。	今後も必要な研修や訓練が実施できるよう計画を作成してまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	避難訓練や交通安全指導等の実施内容については、お知らせに記載したり、SNSやHPにて情報を発信しています。	今後ご家族等へ周知できるように努めてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	組織内・全体ミーティングにおいて月に1回報告の機会を設けています。	事業所間でのヒヤリハット報告や想定ヒヤリハット等事例検証を行い、防げる事故は事前に対処できるよう努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止委員会を設置しています。定期的な研修を行い啓発活動を実施しています。	定期的な研修会や周知にて職員の知識向上、意識改革を行ってまいります。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	身体拘束適正化検討委員会を設置しています。委員会スタッフによりマニュアルを作成し、全職員に周知するよう取り組んでいます。必要性がある場合、保護者様とご相談の上決定させていただきます。	止む終えず拘束対応する場合はマニュアルに準じて行動できるよう情報の共有をします。 止む終えず身体拘束の必要性がある場合は、必ず保護者様と相談の上で決定させていただきます。	

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		令和7年2月7日		
HARVEST GAT						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	個室空間や学習空間があり、児童の状況に合わせて対応出来るようにしています。	人数が多い場合や使いたい物が重なっている時は、スタッフ間で話し合いながら実施していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	利用児童に対し適切な数の職員が配置されています。	お子様が安全に療育が受けられるように努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	8	事業所入口前に段差がありますが、段差昇降に困難さのある児童がいれば必要に応じて補助を行っています。	お子様の状態に合わせ必要に応じて対応させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	事業所内の掃除と整理整頓は毎日行い清潔を保っています。お子様が活動しやすい空間づくりに努めています。	引き続き、お子様が活動しやすい環境づくりを意識していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	お子様の状態に合わせ、個室を使用できるようにしています。	引き続き、お子様の様子に合わせた環境設定を行っていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	児童の担当職員だけでなく、職員全員が参加しミーティングを行っています。児童の情報共有、療育内容の検討、目標設定の確認をしています。	今後もより良い療育が提供できるように努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	毎年実施し、結果をホームページに掲載しています。頂いた意見をもとに、業務の改善に努めています。	更なる業務改善に向けご意見をいただく機会を増やしていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	日々の業務前後と休憩の時間を使いながら職員間で意見交換する機会を設け、業務改善に繋げています。	引き続き、職員間の連携に努め、業務の見直しと改善に努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	定期的に外部評価を受け、会社全体で情報共有を行い日々の業務の改善を行っています。	引き続き、スムーズな業務に繋がるように改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	2か月に一度（年に6回程度）、全職員での研修を実施しています。	今後も勉強や研修会の機会を設け、職員の資質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	児童と保護者のニーズを確認し、全事業所で共通の評価を用い、評価をもとに計画書の作成をしております。	引き続き、分かりやすい説明ができるよう努めていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	全事業所で共通した評価ツールを使用し実施しております。	引き続き、分かりやすい説明ができるよう努めていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	計画書の作成は児童発達支援管理責任者と担当職員で行っています。作成にあたり職員間で情報共有しお子様の最善の利益となるよう検討を行っています。	引き続き、お子様の最善の利益となるように職員間での情報共有を行い、支援方法の検討をしていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	事業所内での会議の場において職員間で共有する時間を設けております。	引き続き、職員間で共有を行い、計画に沿った支援が実施できるように努めていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	全事業所で共通した評価ツールを使用し実施しております。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	ガイドラインを元に支援内容を選択し具体的な支援内容の設定をしております。	引き続き、関係各所と連携を行い、必要な支援を提供できるように努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	毎週違った活動（工作、運動、ゲーム、SST等）を担当者を決めて立案しています。	引き続き、職員間の情報共有を行いプログラムの立案に努めていきます。

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	毎週違った活動（工作、運動、ゲーム、SST等）を計画することで固定化せずに色々な活動に参加をしていける機会を設けています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	事前の聞き取りやアセスメントを元に計画を立案しています。児童の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。またPDCAサイクルで計画の見直しを行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	利用前の見学で得た情報をもとに、利用時の支援を担当職員間で計画します。また日々業務の前後と休憩の時間を使用しながら、職員間で支援内容の伝達や協力をしながら療育に臨んでいます。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	毎日、職員間でその日の児童の様子情報の情報共有をしています。その際に次回利用時の取り組みの相談を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	日々の利用については、日報で記録を残しています。担当職員（メインとサブ）や職員間で検証し改善を行っています。	今後もより良い療育をご提供できるよう努めていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	ご利用開始月とモニタリング月、誕生日月に計画書の見直しや変更を行い、保護者様に書面でお伝えしています。	モニタリングの際に見直しの必要性を説明させていただきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	0	ガイドラインを元に支援内容を選択し具体的な支援内容の設定をしております。	今度も様々な活動を実施し、4つの基本活動に繋がるように努めていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	事業所で過ごす中でお子様自身が選択し決定する機会を設けております。	引き続き、お子様の状態を踏まえながら自己決定できる力を養える場を提供してまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	事業所の管理者が基本的に参加をしています。事前に児童の様子を担当職員と情報を共有し担当者会議に参加しています。	今後管理者以外も参加の機会を増やし、精通した人材育成に努めていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	保護者様を通して医療機関からの状況を共有させていただき把握をしています。	引き続き、状況把握のために情報共有を行ってまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	保護者様を通して学校行事等は把握をしています。また、学校訪問をしている場合は、その時に情報を把握させていただくこともあります。	ご相談やご質問がある場合は当事業所にご連絡下さい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	状況に応じて連携を取り、情報共有をしています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご質問ください。引き続き連携を深めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	0	現在は移行している児童がいませんが、必要に応じて行ってまいります。	今後必要に応じて対応してまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	三重県子ども心身発達医療センターと連携をして、研修を受けさせていただいています。今後も連携を続けていく予定です。	今後も連携を深めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	現在は実施していませんが、今後交流する機会を設けていければと考えています。	事業所外活動の回数を増やしていきたいと思っております。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	当社の代表が自立支援協議会等の集まりに積極的に参加しています。	当社の代表が自立支援協議会等の集まりに積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	ご利用時間内で、保護者様と情報共有する時間を作り、共通の理解を深めています。事業所で会うことができない保護者様とは送迎時に話を時間を設けています。また、連絡ノートを作成し情報伝達、共有の手段として使用しています。	今後もより良い療育に繋げていきます。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	現在は個別の対応となっておりますが、保護者様のお悩みに合わせて行っています。	今後もより良い療育に繋げていきます。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約の際に説明をさせていただいています。それ以降にご不明点などのご質問があればその都度お答えしています。	今後も保護者様分かりやすい説明が出来るよう努めていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	日々のコミュニケーションやモニタリングを通して確認しています。	引き続き、保護者様と連携をとりながら支援を行ってまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	個別支援計画書の作成と説明を行い、同意を得て支援を実施しています。	引き続き、個別支援計画書をもとに支援を実施してまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	ご利用の前後の時間でお話を伺ったり、お悩みにお答えしています。必要に応じて話し合いの場を設け、実施することもあります。また、連絡ノートを使用し、相談や助言も行っています。	今後もより良い療育に繋げていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	8	保護者様に対してお悩み相談、勉強会等を開催して支援を行っています。	ご質問やご相談がある場合は当事業所にご連絡ください。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情対応の窓口やマニュアルを設けて、迅速かつ適切に対応を行っています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	全事業所統一でのイベントの案内等を発行しています。またホームページやSNS (Instagram、Facebook) で様々なお知らせや事業所の様子の紹介を行っています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	会社全体でのミーティングにて個人情報への認識を高めております。個人情報は厳重に扱うことを全職員で徹底しています。	引き続き、個人情報の取り扱いには細心の注意を払ってまいります。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	保護者様のご都合に合わせて、個別対応をしています。直接お会いできない場合でも書面等を通じて、様子を伺わせていただいています。	今後もより良い療育を提供できるよう努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	0	昨年度、毎月のイベントにて地域の方に協力をいただき、海岸清掃を実施いたしました。今後も地域の方と繋がったイベントを行っていきたく考えています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	社内にて委員会を設立し、全体での研修会を通して職員の周知に努めています。災害や感染をテーマにした活動を行い、その内容を保護者様にお伝えしています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	47	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	計画を立てて年に2回は必ず実施しています。他にも感染症対策として手洗い方法の確認や、交通安全についても全事業所同時に学びと実践の機会を設け取り組んでいます。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	利用時に保護者に聴取し、職員間で情報共有を行い把握しています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	利用時に保護者に聴取し、職員間で情報共有を行い把握しています。おやつ提供の際にはアレルギーに注意し提供するようにしています。	ご相談やご質問がある場合当事業所にご連絡下さい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	社内研修を通してスタッフの知識・意識の向上を行っています。	引き続き、研修を実施し安全管理への知識と意識の向上へ努めてまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	災害時の避難訓練について実施の報告と様子の共有を行っています。	引き続き、訓練の実施と状況共有を行ってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	日ごろのヒヤリ事案をもとにヒヤリハット事例集を作成しております。想定ヒヤリを全職員で考えながら、ケガや事故の防止や予防に務めています。	引き続き、事故がないよう努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	社内にて虐待防止委員会を設置し、マニュアル作成と共に社員研修の実施に取り組んでいます。	ご相談やご質問がある場合は当事業所にご連絡下さい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	基本的に、身体拘束は行っていません。しかし、今後そういったご事も出てくる可能性を含め、身体拘束適正化検討委員会で検討し全社員で共有してまいります。	身体拘束の必要性がある場合、保護者にご相談の上決定させていただきます。	

公表 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		令和7年2月7日		
HARVEST BASEWORKS						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	職員間で連携をして使用の確認を行ないながら、フロアや個室を使用できるようにしています。	今後も職員間で連携を行なっていき、フロアや個室を利用していけるようにしていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	施設基準を満たしております。	今後もお子様及安全に療育を受けていけるように努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	トイレには手すりを設置し、玄関に段差はなく、駐車場を含めてバリアフリー化しております。	今後も必要に応じて対応させていただきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日清掃を行ない、お子様が清潔な空間で療育を受けて過ごせるように努めております。	今後もお子様が清潔な空間で療育を受けて心地よく過ごしていけるように努めていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	職員間で連携をして使用の確認を行ないながら、個室などを必要に応じて使用できるようにしております。	今後も職員間で連携を行なっていき、フロアや個室を利用していけるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	職員間で情報共有を行ない、業務改善に向けて取り組んでおります。	今後もよりよい療育を提供できるように努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	配布したアンケートでの保護者様からのご意見を確認し、更なる業務改善へとつなげていけるように努めております。	アンケートでいただいた保護者様からのご意見を確認していき、更なる業務改善へと繋げていけるように努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の打ち合わせや事業所会議で意見等を把握する機会を作り、業務改善へとつなげていくことに努めております。	今後も職員の意見等を把握する機会を続けていき、更なる業務改善へとつなげていくように努めていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	定期的に外部評価を受け、業務改善につなげていけるように努めております。	今後も引き続き外部評価を受けていき、更なる業務改善へとつなげていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	二ヶ月に一度、全事業所職員が集まり、職員研修を実施しています。	今後も研修や勉強会を通して、職員の知識や資質の向上へと努めていきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	お子様に合った支援プログラムを作成し、保護者様に説明をさせていただいております。	保護者様への配布の際にご説明をさせていただいております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	お子様の普段の様子や現在のお悩みごと等を保護者様とお話ししていき、放課後等デイサービス計画を作成しております。	今後も保護者様とお子様のことのお話ししていき、ニーズや課題を考えながら放課後等デイサービス計画を作成してまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	児童発達支援管理責任者と担当支援者が話し合いを行ない、放課後等デイサービス計画を作成しております。	今後も児童発達支援管理責任者と担当支援者が話し合いを行なっていき、お子様に合った放課後等デイサービス計画を作成してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	放課後等デイサービス計画に沿った支援を行っております。	引き続き、計画に沿った支援を行なっていくことに努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	標準化された評価を用いて実施しております。	全職員が一定した方法で実施しているよう指導しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに沿って放課後等デイサービス計画を作成し、療育を実施しております。	今後も支援内容やねらい等を保護者様により分かりやすく説明ができるように努めていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	運動課題やゲーム、SST、工作、季節やその時期に応じた遊びなどをお子様にご提供できるように努めております。	今後も職員間で活動プログラムの立案を行ない、よりよい療育をご提供できるように努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	活動プログラムを固定化せずに毎回お子様が楽しめるように工夫をしながら考えております。	今後も職員間で活動プログラムの立案を行ない、よりよい療育をご提供できるように努めていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	保護者様からの聞き取りやニーズに合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、お子様の様子に合わせて個別と集団の活動を設定しております。	今後もお子様の様子に合わせて個別活動と集団活動の活動を取り入れて療育を行なってまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	支援開始前に職員間での打ち合わせをしており、支援内容の確認や情報共有を行っております。	今後も引き続き支援開始前に職員間での打ち合わせをしていき、情報共有を行なってまいります。

適切な支援の提供	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	支援終了後に職員間での打ち合わせをしており、支援内容の反省や情報共有、次回実施する療育内容について考えていくことを行なっております。	今後も引き続き支援終了後に職員間での打ち合わせをしていき、情報共有を行なっています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	日々の療育内容に関しての日報を電子にて記録しております。	引き続き、電子での日報を使用して記録をしていき、その時の状況を振り返ることができるようにして、今後もよりよい療育を提供できるように努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	定期的にモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画の見直しを行なっております。	お子様の日々の成長に合わせて放課後等デイサービス計画の見直しを行なっております。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせることで支援を行っているか。	9	0	実施しています。	引き続き、放課後等デイサービスガイドラインに沿った支援を行なっています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	お子様が自己選択できるように日々の療育の中で関わりながら、自己決定する力を育てられるよう支援を行なっております。	今後も自己選択できるような機会を作り、支援を行なっています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	管理者が参加しております。	今後は管理者以外の職員も参加の機会を作っていく、人材育成に努めています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	関係機関と連携を行なっております。	引き続き、関係機関と一緒に進めていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	必要に応じて学校等訪問を実施させていただいております。	ご質問やご相談がある際にはお気軽にお尋ねください。学校との連携を深めていき、情報共有に努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	情報共有と相互理解に努めております。	ご質問やご相談がある際にはお気軽にお尋ねください。引き続き連携を深めていくことに努めています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	移行支援のご希望がある場合、支援をさせていただき、情報を提供させていただいております。	移行支援についてのご質問等がございましたら、お気軽にお尋ねください。引き続き連携を深めていくことに努めています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	療育の見学や相談時間を設けています。	引き続き、児童発達センターとの連携を図っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	現在はそのような機会はありません。	今後、事業所で協力できることに取り組んでいきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	管理者が参加しております。	今後は管理者以外の職員も参加の機会を作っていく、人材育成に努めています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする機会を作り、共通理解をしていけるように努めております。	保護者様とお話ししていく中でお子様の発達状況や課題について一緒に考えていき、今後も共通理解をしていけるように努めています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする機会を作っております。	今後も保護者様とお話ししていく中でよりよい療育を提供できるように努めています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	初回利用の際に運営規程や支援プログラム、利用者負担等についてのご説明をさせていただいております。	ご契約の際にご説明をさせていただいております。ご不明な点等がありましたらいつでもお尋ねください。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする際にお子様のごことやご家族の方の意向等を確認させていただいております。	放課後等デイサービス計画をお渡しする際に保護者様にご説明をさせていただいております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	半年ごとに放課後等デイサービス計画を作成し、保護者の方に説明をしてからお渡しして同意を得ております。	放課後等デイサービス計画をお渡しする際に保護者様にご説明をさせていただき、同意を得ております。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	日々の療育の中で保護者様とお話しする機会を作り、お子様の悩みにお答えさせていただいております。	今後も保護者様とお話しする機会を設けていきます。お悩みや相談事などお気軽にお話しください。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	9	現在は実施しておりません。	今後、事業所で協力できることに取り組んでいきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	第三者委員会を設置し、迅速かつ適切に対応できるように努めております。	現在、たくさんのご相談や見学のお申込みをいただいております。順次受け入れをさせていただいております。
保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	ホームページや公式LINE、InstagramなどのSNSで毎月のイベントのお知らせや各事業所の様子などを発信しております。	今後もホームページや公式LINE、InstagramなどのSNSで療育の様子などを発信していきます。事業所のことなどを知っていただければと思いますので、是非ご覧ください。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取扱いに十分に注意を行ない、厳重に取り扱っております。	引き続き今後も細心の注意をして、個人情報を取り扱ってまいります。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	日々の療育の中で相談をさせていただいております。	引き続き今後もお子様や保護者様とのコミュニケーションを大切にしていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	多気町の公民館で介護予防事業のフレイル予防についての講演と運動を行ない、地域住民の方々にご参加をいただいております。	今後もフレイル予防についての講演や運動を通して地域住民の方々に関わっていきます。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	防災マニュアルを作成し、周知できるよう努めております。地震や火災の発生を想定した避難訓練をお子様と共に実施しております。	今後もお子様と一緒に避難訓練実施していき、マニュアルについて周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	業務継続計画を策定して、非常災害の発生に備えております。地震や火災の発生を想定した避難訓練をお子様と共に実施しております。	今後もお子様と一緒に避難訓練実施していき、非常事態の発生に備えていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	ご契約時にお渡しする書類に記載をいただき、内容を把握して職員間で共有しております。	全職員でお子様のことを把握していき、今後も共有していくように努めていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	ご契約時にお渡しする書類に記載をいただき、内容を把握して職員間で共有しております。	全職員でお子様のことを把握していき、今後も共有していくように努めていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全計画を作成し、職員全体での研修を行ったり、地震や火災の発生を想定した避難訓練をお子様と共に行ない、安全管理に努めております。	今後もお子様と一緒に避難訓練実施していき、安全管理に努めていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	ご契約時に当事業所の緊急避難先が記載されているカードを保護者様にお渡しし、安全計画に基づく取組内容についてお伝えしております。	お子様と一緒に実施した避難訓練のなどを保護者様にお伝えし、安全確保に努めていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	各事業所内で起きた怪我や事故のヒヤリハットの対応策を全事業所で共有し、再発防止に向けた対策に努めております。	引き続き、怪我や事故が起こらないように今後も予防に努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止委員会を設置し、マニュアルを作成しております。年間スケジュールを作成し、職員向けの研修を実施していくことで職員の知識の向上に努めております。	引き続き、職員の知識向上の為の研修機会を設けていき、取り組んでいきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	身体拘束委員会を設置し、マニュアルを作成しております。年間スケジュールを作成し、職員向けの研修を実施していくことで職員の知識の向上に努めております。	身体拘束の必要性がある場合は、保護者様とご相談のうえで決定させていただきます。	

公表
事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
HARVEST UNITE		令和7年2月7日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	個室の使用や同時に複数の児童がいても、パーティションを使用して空間を区切る事が出来ます。それを活かして、個々に合わせた対応をしています。	利用人数によっては個室、パーティションが足りない可能性があります。今後利用人数が増えても多くのお子様クールダウンスペースの確保、お子様が集中しやすい環境を提供できるようにスペースの使用を工夫していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	利用児童に対して、支援者の数が常時1人以上で対応できる人数配置を行っています。	基準を満たす人数配置は行い、利用児童1人に対して支援者が常時1人以上で対応できるようになっています。怪我や事故がないように、引き続きお子様が安全に療育へ参加できるように努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	生活空間に関しては、段差がなくバリアフリー化がとられています。情報伝達に関しては、日々職員間で業務の前後と休憩前に定期的に実施の他、随時情報の伝達と共有をして対応をしています。	トイレの手すりや玄関先スロープなどを今後検討しており、必要に応じて対応させていただきたいと考えています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	清潔な空間を保つため掃除、消毒を徹底しております。物品を整理整頓し活動スペースを広く保つよう心がけております。整理整頓の徹底は児童が集中して取り組める環境、怪我をしないことにも繋がっています	新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染症が未だに流行しておりますので、感染対策は徹底しています。お子様がよく触れる玩具や遊具は特に消毒をまめに実施していきます。また空気を換気する際にはお子様が窓を乗り越えて外に出ないよう仕切りを付けるような対応が必要と考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	児童の特性や必要に応じて、個室や個別での課題が行える様な環境設定を整えております。	引き続き児童の特性や必要に応じて、個室や個別での課題が行える様な環境設定を整えていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	各スタッフ、担当の児童に対して主担当とサブ担当を設けることで、広い視野で児童への支援方法を考え計画を行っています。	引き続き職員同士の情報共有を行い、職種の特性を活かした提案（支援計画）を形にしていけるよう努めていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年実施し、その結果はHPIに掲載をしています。またそこから出た意見を元に、全事業所で日々の療育に改善を行っています。	引き続きアンケートからいただいたご意見を元に業務改善に繋げていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の申し送りや、毎月実施している事業所会議などでも活発に職員からの意見を伺える場を設けています。そこから業務改善に努めています。	引き続き日々の申し送りや、毎月実施している事業所会議などで職員からの意見の把握に努めていきます。そこから業務改善に繋げていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	外部評価に当てはまるか分かりませんが、集団指導やオンライン監査を元に、会社全体で情報共有を行い日々の業務の改善を行っています。	引き続き外部評価を行い、評価結果を元に会社全体で情報を共有し、日々の業務改善に努めていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	2か月に一度（年に6回程度）、定期的に計画して全体で集まった職員研修を実施しています。	今後も勉強会、研修を定期的に行い、評価指標の作成や療育内容の発案など職員1人1人の質を向上していけるよう取り組んでまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	お子様の特性に応じた環境設定と、様々な資格を有する支援者が勤務しており、お悩みに包括的に対応できるようになっています。	引き続き支援プログラムについては計画書を作成していきます。また保護者様に伝わるように丁寧な説明を行っています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	利用開始月と年に2回（誕生日とその半年）、計画書を作成しています。保護者様にもモニタリング月前には評価を行うと共に、担当とサブの担当者で話し合いを行い支援計画を作成しています。	支援内容が分かりやすいように「どんな遊び」や「課題」を提供するか課題ごとの意味合いを記載するようにします。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	計画書の作成は担当職員が行っています。しかし計画の作成には管理責任者や他職員も共通理解の下で最善の利益を考慮する様にしています。	引き続き計画書の作成には管理責任者や他職員も共通理解の下で最善の利益を考慮する様にしています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	利用前の見学でた情報を元に、利用時の支援を担当スタッフ間で計画します。また日々業務の前後と休憩の時間を使用しながら、職員間で支援内容の伝達や協力をしながら療育に臨んでいます。	引き続き支援開始前には必ず職員間で打ち合わせをします。利用時間の切り替わりで事業所内にお子様が多くなる場合も怪我や事故が起きないよう役割分担をして対応できるように努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	保護者様への事前聞き取りやニーズに沿って計画を立案しています。またその聞き取りを元に、全事業所で共通の評価を年齢や状態に合わせて実施しています。お子様の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。	保護者様への事前聞き取りやニーズに沿って計画を立案しています。お子様の様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	ガイドラインに沿った支援内容を計画し、各必要項目を満たすように意識して組み合わせています。	引き続きガイドラインに沿った支援内容を計画し、各必要項目を満たすように意識して組み合わせていきます。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	療養士、保育士の特色を活かし、チームで活動を立案しています。(運動課題、工作、ゲーム、SST等)活動内容は毎回変更しており、児童に合わせて難易度やルールを調整しています	お子様の成長に合わせた遊びに楽しく参加していただけるように努めます。実施した遊びや課題にどんな意味があるのか、狙いがあるのかを保護者様にお伝えできるようにしていきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。スモールステップを敷くことで成功体験を積み重ねることができるよう、活動プログラムは固定化せず、たくさんの活動に参加していただけるよう工夫しています。	各児童に応じて保護者様のニーズや目標に沿った支援を行い、目標を達成するまでの過程を大事にしています。スモールステップを敷くことで成功体験を積み重ねることができるよう、活動プログラムは固定化せず、たくさんの活動に参加していただけるよう工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	事前の聞き取りやアセスメントを元に、計画は立てています。子どもの様子に合わせて個別と集団での活動を設定しています。またPDCAサイクルで計画の見直しを行っています。	基本的には個別活動、集団活動どちらも実施しますが、お子様の状況に合わせて適宜支援内容を変更していきます。
適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	利用前の見学で情報を元に、利用時の支援を担当スタッフ間で計画します。また日々業務の前後と休憩の時間を使用しながら、職員間で支援内容の伝達や協力をしながら療育に臨んでいます。	引き続き支援開始前には必ず職員間で打ち合わせをします。利用時間の切り替わりで事業所内にお子様が多くなる場合も怪我や事故が起きないように役割分担をして対応できるように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	毎日、職員間でその日の子どもの様子の情報共有をしています。その際に次回の利用時の取り組みの相談を行っています	引き続き支援開始前には必ず職員間で打ち合わせをします。支援後には振り返りを行い、次回実施する支援内容の検討や目標を決定するようにします。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	日々の利用については、日報で記録を残しています。担当スタッフ（メインとサブ）や職員間で検証改善を行っています。	引き続き日報をいつ確認しても当時の状況を振り返ることができるような記載内容にすることを心がけていきます。スタッフ全員がよりよい支援を提供できるよう話し合う機会を設け、支援の検証・改善につなげていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	利用時初月とモニタリング月、誕生日月に計画書の見直しや変更を行い親御さんにも書面でお伝えしています。	日々成長していくお子様の状況に合わせて児童発達支援計画を見直していきます。定期的なモニタリング実施と見直しの必要性をしっかりと判断し、見直した内容を保護者様に分かりやすく説明できるよう努めます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9	0	はい、事業所での活動をの計画にあたり、4つの基本活動を複数組み合わせをした活動課題を考えています。	引き続き、4つの基本活動を組み合わせた活動内容を検討していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	利用の際は、お子様に活動の自己選択をしていただける時間を設定しております。	引き続き利用の際はお子様に活動の自己選択をしていただける時間を設定し、自己決定をする力を育てて行ける様に支援を行ってまいります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	事業所の管理者が基本的に参加をしています。ただ、事前に子どもの様子を担当スタッフから現状を聴取し把握して担当者会議に参加しています。	今後は管理者以外のスタッフが参加する機会を増やし、サービス担当者会議に精通した人材育成に努めていきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	必要に応じて、保護者様を通して主治医等と連絡を取り合い、連携をとっています。また、利用時にかかりつけの病院の情報を聞き、連絡体制を整えています。	引き続き必要に応じて、保護者様を通して主治医等と連絡を取り合い、連携をとっていきます。また、利用時にかかりつけの病院の情報を聞き、連絡体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	学校とは個別で必要に応じて、保護者様を通して情報共有を行っております。	引き続き学校側とは必要に応じ保護者様を通して、情報共有を行っていきます。また必要に応じて、保育所等訪問支援の実施で連携をしていきたいと考えています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	9	個別対応の場合により連携を取らせていただく事もあります。	引き続き就学前の連携を検討しながら、当社の保育所等訪問支援により連携を取らせていただきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	9	現在は移行している児童がいませんが、今後必要に応じて行っていきたく思っています。	現在は移行している児童がいませんが、今後必要に応じて関係各所と連携をとっていただけるよう努めていきます
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	実際に各種医療・福祉機関と連携して療育を実施させていただいているケースもございます。今後も連携を続けていく予定です。	引き続き今後も連携を続けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	9	現時点では、実施していませんが、今後交流する機会を設けて行ければと考えています。	現在は実施していませんが、今後は毎月開催しているイベント等から、交流を持てると思っております。交流を通して、地域とつながっていきたく思っています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	当社の代表が、自立支援協議会等の集まりに積極的に参加をさせていただいています。	今後は管理者以外のスタッフが参加する機会を増やし、サービス担当者会議に精通した人材育成に努めていきます
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	利用の時間内で、療育の時間とフィードバックの時間を作り伝え合い、共通の理解を深めています。	引き続き保護者様とお話する時間を大切に、お子様の発達状況や課題について都度共通認識を持てるようにしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	現在は個別の対応となっておりますが、保護者様のお悩みに合わせて行っています。	ご自宅でお子様への関わり方やホームエクササイズを提案をさせていただいております。ペアレント・トレーニングについて興味がある、ご不明な点がありましたら気軽にスタッフまでお尋ねください。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約の際にご説明をさせていただいています。また、それ以降にご不明点等のご質問にはお答えさせていただいています。	契約時に説明させていただいております。請求書をお渡す際に再度丁寧な説明をするようにします。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などを用いることで全職員がお子様や保護者様の意思を確認することができるようにしています。またその資料は毎年更新を行っております。	引き続き全事業所で統一された評価やお子様プロフィール(聞き取り聴取資料)などを用いることで全職員がお子様や保護者様の意思を確認していく様にいたします。

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	サービスの利用にあたり計画書を保護者様に配布させていただいています。配布する際には支援内容について説明を行っており、約半年で計画の見直しを行っております。	引き続き児童発達支援計画書を保護者様に配布し、支援内容についての説明を行ってまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	ご利用の前後の時間でお話を伺ったり、お悩みにお答えさせていただいています。必要に応じて、話し合いの場を設ける実施する事もございます。	ご利用時は必ずスタッフと保護者様でお話する時間を設けております。お困りごとや相談には都度対応させていただきますので気軽に声がけください。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	9	現在はコロナ禍でもあり集まって行う事を実施していませんが、今後は実施していきたいと思っています。	引き続き定期的に保護者様同士が連携できる場を提供していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情対応の窓口やマニュアルを設けて、迅速かつ適切に対応を行っています。	現在多数のご相談や利用見学のお申し込みを頂いています。ご相談や申し入れに対しては迅速に回答できるよう体制を整備していきます。
保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月全事業所統一でのイベントの案内等を発行していると共に、SNS（HP、Instagram、Facebook）でイベントのお知らせや事業所の様子の紹介を行っています。	現在は屋外活動や勉強会といったイベントの案内をチラシ配布、掲載、SNS等さまざまな方法でお知らせをしています。今後は療育で実施している活動内容の紹介なども発信していきたいと考えています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報の取り扱いについては、会社全体でのミーティングをはじめ全スタッフで気を付けて取り扱っています。	引き続き個人情報につきましては厳重に取り扱ってまいります。会社全体のミーティングにて個人情報の扱いについての理解をより一層深める取り組みも継続していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	保護者様のご都合に合わせて、個別対応をしています。直接お会いできない場合でも書面等を通じて、様子を伺わせていただくようにしています。	引き続き保護者様、お子様に分かりやすく情報を伝達できる方法を模索していきます。なるべく可視化して情報を確認しやすいようにしていきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9	昨年度、毎月のイベントにて地元の方に協力をいただき、海岸清掃を実施いたしました。現在はコロナ禍でもあり、地域住民を招待する事を実施していませんが、今後は地域の方と繋がったイベント等を行っていきたく考えています。	昨年に引き続き海岸清掃や新たなイベントを企画し、地域住民の皆様も気持ちよく参加、交流する機会を設けていきたいです。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	はい、マニュアルがあります。また社内で運営TEAMを設立しています。その中の一つに災害チームがあり、災害や感染症等について職員からの意見を取り入れ職員向けに検討議案を立てて実際に活かせる取り組みをしています。	マニュアル内容を全職員が把握することを徹底します。緊急時を想定した訓練を実施するとともに「なぜ訓練を実施するのか」という因果関係をお子様にも学んでもらうきっかけにしていきたいです。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	はい、実施しております。計画を立てて年に2回は必ず実施し、他にも感染症対策として手洗いの方法を確認や交通安全についても全事業所同時に学びと実践に取り組んでいます。	年間計画を立て計画的に実施していけるよう準備し、訓練を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	保護者様から聴取させていただくことに加え、契約時にお渡しする書類に記載していただくようにしております。記載していただいた内容は、毎年更新を行い事業所職員で情報を共有し把握するようにしています。	お子様を送迎していただいた際、毎回体調に変化が無い確認することを徹底しています。お子様が少しでも様子が変わると気づけるよう本人の様子観察も全職員で徹底します。お子様の状況に関しては事前に保護者様に記載していただく書類を確認し対応できるようにしておきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	食べ物の提供をする事は無いのですが、アレルギーに関しては利用時に聴取し職員間で情報共有を行い把握しています。	お食事（昼食、軽食等）としての食べ物を提供する予定は現在ございませんが、口腔訓練や屋外活動などの機会に食物に接する機会がございますので、アレルギーに関する情報は全職員が情報を把握するようにしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	社内で運営TEAMを設立しています。災の中の一つに雪対策チームを設置しており、職員向けにもKYTトレーニングをしています。利用児童には災害や感染症等について、2か月に1回ほど集団活動を通して児童にも避難訓練や手洗いの重要性を学ぶ機会を設けております。また保護者の皆様におかれましては、「エマージェンシーカード」について説明し、事業所の連絡先や避難先を記載したものをお渡ししております。	マニュアル内容を全職員が把握することを徹底します。緊急時を想定した訓練を実施するとともに「なぜ訓練を実施するのか」という因果関係をお子様にも学んでもらうきっかけにしていきたいです。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。	引き続き安全面に考慮し、アレルギーの把握や服薬状況、OPE歴、リスクに関しては必ず保護者様に確認を取るようにしています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	はい、実施しております。また日ごろのヒヤリを元に想定ヒヤリを全職員で考えながら、ケガや事故の防止や予防に努めています。	ヒヤリハットに関しましては全事業所で事例を共有していません。引き続き実際にあったヒヤリハットや現場で想定されるヒヤリハットな状況を全職員で考え、ケガや事故の予防に努めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	はい、社内で虐待防止についてのチームを作り、マニュアル作成と共に社員研修の実施に取り組んでいます。	年間計画を立て計画的に研修を実施していけるようにします。引き続き職員の技術・知識向上のための研修機会を多く設けていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	基本的に、身体拘束は行っていません。しかし、今後そういった事も出てくる可能性を含め、チームで検討し全社員で共有していきたいと考えています。	身体拘束に関するマニュアルを作成し、全職員が止む終えず拘束対応する場合にマニュアルに準じて行動できるよう情報の共有をします。止む終えず身体拘束の必要性がある場合は、必ず保護者様と相談の上で決定させていただきます。	

**令和7年2月1日よりKOMAキッズ鈴鹿、KOMAキッズ鈴鹿2号館は
HARVEST HOMEとして営業しております。**

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	KOMAKIDS鈴鹿2号館		公表日	令和7年2月7日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	柱がある場所にはクッションを置いて怪我のないように注意して活動を提供しています。	児童の特性に合わせて学習支援時はパーテーションなどを使って集中しやすい環境をつくっていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	利用児童数に対して職員が適切に配置されています。	今後もお子様及安全に療育が受けられるような体制作りを努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	7	段差や上がり框においては必要に応じて補助を行っています。	各場所においてイラストを用いた視覚提示など、構造化された環境作りをしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	日常的に整理整頓を行い、毎日清掃と消毒を実施し、清潔を保つようにしています。	天井の低さなどでできない活動がありますが、環境に合わせた活動を提供していきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	必要に応じて、児童の特性に合わせた個室の使用をしています。	数に限りがある為必要に応じてパーテーションなどで簡易個室を作れるようにしていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	業務前のミーティングや紙媒体で児童情報の共有をしています。	ミーティングに参加できない方やパートにて従事している職員への情報共有などはICTなどのツールを用いて参画できるようにしていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	頂いたアンケートをもとに業務改善に努めています。毎年アンケート結果をホームページに掲載させていただいています。	引き続きアンケートから頂いた意見をもとに業務改善に努めていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	2	ミーティングで職員間で意見を出し合い、改善に努めています。	ミーティングに参加できない方に関しては、ICTなどのツールを用いて意見をいただく機会を作っていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	外部の企業と連携を行い、互いの事業を評価しあう機会を設け、その結果を業務改善に繋げた。	今後は集団指導やオンライン監査などを活用し、業務の改善に努めていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	2か月に1度法人全体で集まったの職員研修を実施しています。	今後も勉強会や研修を通じて職員一人ひとりの質を向上していけるように取り組んでいきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	療法士、保育士の特色を生かし活動の立案をしています。保護者の方にはICTなどのツールを用いて活動内容の公表をしています。	引き続きチームで支援プログラムを立案し、実施した遊びや課題にどんな狙いがあるのかをお伝えできるようにします。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントシートを下に、日々の活動を職員間で相談し療育を提供しています。	アセスメントを適切に行い、保護者のニーズに合った放課後等デイサービス計画の作成に努めてまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	業務前のミーティングで遊びや活動の狙いを共有し、保護者のニーズに沿った活動になっているかの確認を行っています。	業務前のミーティングだけではなく、放課後等デイサービス計画の作成時に職員間で共有し検討を行っています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	業務前のミーティングで遊びや活動の狙いを共有し、共通理解の下で活動を提供しています。	今後も児童の成長に合わせて放課後等デイサービス計画の見直しをしていき、共通理解の下活動を提供していきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	全事業所で統一された聞き取り用紙や評価を実施しております。	保護者の方により分かりやすく説明をできるように今後も取り組んでいきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	児童本人、保護者の方と連携を取り支援内容を計画しています。	本人、家族だけではなく放課後等デイサービスガイドラインに沿って、「移行支援」・「地域支援・地域連携」を取り入れて療育を行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	療法士・保育士の特色を活かし、ゲームや工作、季節行事などを提供できるように努めております。	今後もチームで活動プログラムの立案に努めていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	同じゲームでもルール追加など、難易度を変えて児童が楽しく参加できるように工夫しながら努めております。	引き続き職員間で活動プログラムが固定化しないよう工夫し、療育を提供していきます。

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	保護者の方のニーズに沿って支援計画を作成し、児童の様子に合わせて個別と集団での活動を提供しています。	今後も児童の特性に合わせて個別と集団の活動を取り入れていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前に職員間で役割分担や活動の狙いについてなど打ち合わせを行っています。	引続き支援開始前に打ち合わせを行い、役割分担や活動内容の確認を行っています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後は在席している職員で情報共有を行い、離席している職員には紙媒体のもので共有できるようにしています。	支援終了後の打ち合わせ時に離席している職員には、紙ベースだけではなく後日の打ち合わせ時にも共有するようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	児童の机上課題や活動の記録を電子・紙媒体で行い、支援の検証・改善につなげています。	引き続き電子や紙ベースでの日報を記録し、振り返り、今後の支援の検証・改善に努めてまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行い、保護者の方に書面でお伝えしています。	お子様の日々の成長に合わせて放課後等デイサービス計画の見直しを行い、保護者の方に分かりやすく説明していきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	0	7	ガイドラインに沿って遊びを工夫し、療育を提供しています。	『地域交流の機会の提供』が未達成の為、児童の社会経験の幅を広げられるような地域の人との交流を図っていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	7	0	机上課題や余暇の時間など、自己決定する場を設け自分で判断し、自分で決める力に繋がる支援を心掛けています。	今後も自己決定する力を養うための支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	半年に一度関係機関との連携を図り、児童状況の共有を行っています。	適切な児童状況の共有ができるように努めてまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者の方を通して、療育センターや医療機関からの情報を提供していただいています。	今後も適切な情報把握に努め、連携して支援を行う体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	保護者の方を通して、学校行事や下校時刻の確認を行っています。また、送迎時に学校での情報を提供いただくこともあります。	今後も保護者の方からの協力の下、学校との情報共有を適切に行っていきます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	必要に応じて連携を取らせていただくこともあります。	引き続き必要に応じて連携を取らせていただきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	現在は移行している児童がいませんが、必要に応じて行っています。	必要に応じて対応させていただきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	7	現在はスーパーバイザーや助言や研修を受ける機会がありませんが設けていければと考えております。	今後は地域の児童発達支援センターとの連携を図り、研修を受ける機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	現在は実施していませんが、今後交流する機会を設けていければと考えています。	交流する機会を設けていくことで児童が地域との繋がり作っていただけるよう取り組んでいきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	当社の代表が自立支援協議会等に参加しております。	今後は職員も積極的に参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時やICTを用いて児童の発達状況や課題について情報共有が出来るように心掛けています。	今後も保護者の方との情報共有、共通理解が持てるように努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	定期的に保護者会を実施し、研修や相談できる機会を設けています。	今後も家族支援や研修を行っています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学・契約の際にご説明させていただいています。	今後も保護者の方がわかりやすい説明を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	送迎時に保護者の方と児童とお話する機会を設けております。	今後も保護者の方と児童の意向を確認できる機会を設けていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	放課後等デイサービス計画に目を通してもらい、必要であれば説明を行ったうえで同意を得ています。	今後はこちらから支援内容の説明を行い、保護者の方に同意を得られるよう努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	お会いできるときにお悩みや相談に対応させていただいています。必要に応じて面談も行っています。	今後もご質問やご相談に対して丁寧に対応させていただきます。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	定期的に保護者会を実施し、保護者同士の交流の場を設けております。	今後も保護者同士が交流できるような機会を作っていきます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情に対して迅速かつ適切に対応できるよう努めております。	今後はマニュアルなどの周知徹底を図り、より適切に対応できるように努めてまいります。
保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	0	7	現在通信の発行、HPやSNS等の活用を行っていないので、今後活用できるよう準備を進めていきます。	HPやSNS等から行事予定などの発信を行っていただけるよう努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報の取り扱いには最善の注意をはらっています。	今後も個人情報の取扱いに最善の注意をはらっていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	送迎時や電話、LINE等で保護者の方と児童とお話する機会を設け、情報共有に努めています。	今後も保護者の方と児童とのコミュニケーションを大切に努めてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	7	現在は実施できていません。今後地域の方と交流を持てるような機会を図っていきます。	地域の方との交流の機会が増やせるよう事業所の行事等考えていきます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的に研修を行い、物品の確認や訓練を行っています。	児童・職員が訓練に参加し発生時に対応できるよう努めてまいります。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に職員と児童で非難訓練を実施しています。	BCPに沿って緊急事態が発生しても業務継続、または業務を中断しても早急に実施するための体制や資源の確保を整えます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	見学时、契約時に確認できた児童に対しては職員間での周知を行っております。	今後も児童状況の周知に努めます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	現在は対象となる児童がいませんが、必要に応じて行っていきます。	見学や契約時に児童の状況把握を行い、適切に対応できるように努めてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	定期的な研修や訓練を実施し、安全管理をしながら支援ができるように心掛けています。	今後も保護者の方や児童が安心して活動出来るように努めてまいります。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	電子ツールで訓練の内容や様子を伝え、保護者の方に確認いただいています。	今後も安全確保に関して電子ツールを用いて周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	支援中のヒヤリをもとに積極的にヒヤリハットを記入し共有することで、今後の怪我や事故の防止に努めています。	ヒヤリハットの報告・共有を怠らず努めてまいります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的な研修を行い啓発活動を実施しております。	定期的な研修会や周知にて職員の知識向上を行っていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	定期的に研修を行い、全職員に周知できるよう取り組んでいます。	今後も定期的な研修会を設け、職員の知識・理解を深めていきます。